

## 宿泊研修で学んだこと 2 つ

8 月 16 日 (土)、17 日 (日) の両日、北村にあるコロボックルハウスで宿泊研修を実施しました。参加者は約 30 名、大テーマ「世界に誇れる石巻を創ろう」の下、班毎にこれまで実践してきたことのまとめや直前にひかえた実践交流の準備などを中心に活動しました。あいにくの天気でしたが、自然に囲まれた閑静な中で、じっくり研修に取り組むことができ、有意義な時間となりました。その中で学んだ 2 つのことを書きます。

### ○ 自然の営みを素直に受け入れる

一日目の午前中は、交流を深めるためのパークゴルフを予定していましたが、雨のため中止し、急きょ各班の創作劇に変更しました。時間のないところでしたが、班員それぞれの将来になりたい職業を中心に趣向を凝らし、見事な寸劇にまとめてくれました。塾生の良さを発見できたということではパークゴルフ以上の収穫だと思っています。また、二日目の早朝は、旭山県立自然公園への登山の計画でした。前日雨模様で登山は無理だと思っていたのですが、4 時 30 分から 1 時間だけ雨がやみ、登山を実施することができました。頂上は霧がかかっている下界の景色は見えませんが、日の出前の清々しさを体験することができました。諦めないでよかったと思っています。いつか機会を見つけて旭山から朝日の登る瞬間の荘厳さを感じてほしいと思います。自然現象は、人知を遥かに超えた営みです。それを素直に受け入れ、その中で最善を尽くすことの大切さを学びました。

### ○ マイナスはプラスに変わることがある

一日目の夕食はカレーライスを作ることになっていましたが、ルーに水を入れすぎてスープのような状態になってしまい食べられるような状況ではありませんでした。考えあぐねていた時、誰かから、「カレーのルーを足せばいいのでは」という意見が出ました。それからの対応の速さはさすが耕人塾です。カレールーを買いに行く人、ルーの量を加減しながら入れる人、入れすぎた水をアクを取るようにボウルに戻している人など、みんなの協力で見事な大量のカレーができました。お陰で、何杯もお変わりができ、次の朝も予定していた弁当を昼に回して、カレーライスを食べることができました。失敗してしまうとがっかりしてやる気をなくしてしまいがちですが、今回のように知恵を絞ればうまくいく場合もあるのですね。正に、マイナスはプラスに変わることがあるということです。人生にはこのようなことがたくさんあります。マイナスをプラスに変えるための知恵を絞り、最善を尽くすことの大切さを学びました。

### 「心の持ち方」で人生が変わる

明治時代の人で常岡一郎という人がいます。病気のために大学を中退し、修養のために全国各地を回ってトイレ掃除をした人です。その後、人生相談のために全国を行脚し、90 歳まで人の道を説き続けました。その人の言葉を紹介します。「自分一人の尊さを知る。今日一日、今一刻のありがたさを知る。これを離れて人生はない。大切にせねばならぬのは今日一日の生き方である。自分一人のみがき方である。大きい理想、高い希望も大切である。しかし、それは今日、今、自分自身からのみ生まれてくる。」『耕人塾』での「人間力」磨きに通じますね。